

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (竹原市立忠海西小学校)

- ① 教科等 国語科 ② 学年 第2学年
- ③ 単元名 好きな場面をげきにしよう「名前を見てちょうだい」
- ④ 本時の目標 えっちゃんと大男の会話を演じることを通して、えっちゃんの大切な帽子を取り返したいという強い気持ちを読み取る。
- ⑤ 学習の流れ (10 時間目/全 15 時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 前時までの学習を振り返る。 2 学習課題を確認して、音読する。 大きくなったえっちゃんの様子や会話に気をつけて、劇をしよう。	・大男にえっちゃんの帽子を食べられたことを想起させる。	★対話活動 自己内対話 1 表情図 2 シートへの書き込み 児童間対話 1 グループで劇化 2 えっちゃんの様子や会話
3 にげないえっちゃんの様子を想像する。 ・えっちゃんの会話文を意識し役割読みする。 「だって、あたしのぼうしだもん。」 「あたし、おこっているから、あついわよ。」 「あたしのぼうしをかえしなさい。」 ・大きくなっていくえっちゃんの様子とそれに対する大男の様子を比べていく。	・きつねや牛と違って大男からにげないえっちゃんの様子と、大男の様子を比較してとらえさせる。 ・えっちゃんの会話や行動については、大切なキーワードに線を引かせておく。	
4 劇化するための工夫をプロファイリングシートに書き込む。 自己内対話 ・えっちゃんの表情図を選ぶ。 「あついわよ」…がまんできない顔 「かえしなさい」…おこっている顔 ・会話や行動をもとに劇化の工夫を書く。	・表情図を選ばせることで、えっちゃんの帽子に対する思いに同化させ、様子や行動を読み取らせる。 ・えっちゃんの表情の根拠になる言葉に気付かせ、劇化の工夫を書かせる。	
5 グループで、動作化や会話の工夫の根拠を話し合いながら、劇化する。 児童間対話 ・劇化での工夫をホワイトボードに書く。 湯気をもうもうと ぐわあんと…真っ赤な顔 ・グループごとに、黒板のキーワードにそって、ホワイトボードを貼り出す。	・えっちゃんの行動を動作化させたり、えっちゃんの会話を声の大きさに注意して音読させたりすることで、えっちゃんの帽子に対する強い気持ちを読み取らせる。 ・視点を決めて話を聞かせる。	
6 劇を演じることにより、えっちゃんの帽子に対する強い気持ちを読み取る。 児童間対話 ・劇化することで、えっちゃんの帽子に対する気持ちについて交流を深める。 自己内対話 ・ノートにえっちゃん日記を書く。	・他のグループの表現を見合い、えっちゃんが帽子を取り返していく様子や行動について話し合わせ、えっちゃんの帽子に対する強い気持ちに気付かせる。 ・えっちゃんに同化して書かせる。 ・劇化したことを振り返らせる。	
7 本時の学習を振り返る。		

「言語活動の充実」

設定した言語活動を通して育てたい力

- 登場人物の行動や会話を劇に表現することにより、場面の様子や人物の行動を想像して読むことができ

言語活動の充実のための指導の工夫

- 個の考えを明確にさせるために、プロファイリングシートを活用し、自己内対話をさせる。
- 話の内容を根拠をもとに読み取り、登場人物の様子や気持ちの変化を深く考えさせるために、児童間対話(ペア・グループ・全体)をさせる。